



平成29年7月28日

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の選定結果

本年度から開始する「課題解決型高度医療人材養成プログラム」について、10件の事業の選定を決定しました。

1. 事業の背景・目的

本プログラムは、全国の大学・大学病院における人材養成機能を一層強化し、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療を提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医療人材を養成することを目的に平成26年度より事業を実施しておりますが、健全な病院運営実現のための教育プログラムの開発及び教育体制を構築し、地域の実情に応じた経営戦略の企画・立案能力を兼ね備えた医療人材を養成するため、今般、新たに「病院経営支援に関する領域」をテーマとして設定し公募の上で支援を行うこととしました。

2. 審査状況

平成29年4月21日付けで医学部・歯学部を置く各国公私立大学長宛に公募を行い、17件の申請を受け付けた後、「課題解決型高度医療人材養成推進委員会」における審査を踏まえ、このたび、別添1のとおり10件の事業を選定しました。

3. その他

課題解決型高度医療人材養成推進委員会（委員長：大島 伸一（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター名誉総長））から、今回の選定について別添2のとおり所見が述べられました。

<本件に関する問合せ先>

高等教育局医学教育課

大学病院支援室病院第二係 檀、金丸、川合

電話 03-5253-4111 (2578)

03-6734-2578 (直通)

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果一覧

テーマ 病院経営支援に関する領域

申請件数: 17件 選定件数: 10件【国立8件、公立1件、私立1件】

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	北海道大学		病院経営アドミニストレーター育成拠点
2	国	千葉大学		病院経営スペシャリスト養成プログラム
3	国	東京大学		経営のできる大学病院幹部養成プログラム
4	国	東京医科歯科大学		大学病院経営人材養成プラン
5	国	京都大学		実践的医療経営プロフェッショナル教育事業
6	国	神戸大学		実践的病院経営マネジメント人材養成プラン
7	国	高知大学	香川大学、高知工科大学、高知県立大学	地域医療を支える四国病院経営プログラム
8	国	宮崎大学		教育用電子カルテ活用による人材養成事業
9	公	横浜市立大学		都市型地域医療を先導する病院変革人材育成
10	私	慶應義塾大学		ケースとデータに基づく病院経営人材育成

平成 29 年 7 月 28 日

課題解決型高度医療人材養成推進委員会の所見

- このたび、本委員会は「課題解決型高度医療人材養成プログラム（病院経営支援に関する領域）」について、本年 6 月に申請のあった 17 件の事業のうち、事業の構想（事業の全体構想、教育プログラム・コースの優秀性）及び事業の実現可能性（事業の運営体制、事業継続・普及に関する構想）等について審査を行い、特に優れた 10 件の事業を選定しました。

これらの事業が計画どおりに実施されれば、大学病院の使命や特殊性、地域における医療課題を踏まえた病院経営戦略の企画・立案能力を兼ね備えた医療人材が養成され、大学病院や医療機関等における効率的な運営、経営改善が図られることにより、地域の実情に応じた質の高い医療体制の確保につながるものと期待します。

- 選定された各大学には、以下の点にも配慮した上で、事業計画が着実に実施されることを要望します。

- （1）事業の実施に当たっては、学長、病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。
- （2）自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。
- （3）事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信するとともに、構築した教育プログラムの他大学・大学病院への普及に努めること。

- 今回、優れた事業や特色ある事業でありながら、残念ながら選定にいたらなかった事業がありました。選定されなかった各大学においては、本委員会から、申請いただいた事業に対する所見をお伝えしますので参考にさせていただくとともに、今後も地域・社会からの高いニーズに応えるべく、本プログラムの趣旨も生かした特色ある人材育成に取り組んでいただくことを強く期待します。

課題解決型高度医療人材養成推進委員会
委員長 大島 伸一

課題解決型高度医療人材養成推進委員会委員名簿

- | | | |
|--------------|-------------|-----------------------------------|
| えとう
江藤 | かずひろ
一洋 | 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構
副理事長 |
| ○ おおしま
大島 | しんいち
伸一 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
名誉総長 |
| かわもと
川本 | りえこ
利恵子 | 公益社団法人日本看護協会常任理事 |
| こばやし
小林 | けいた
慶太 | 公益社団法人日本歯科医師会常務理事 |
| たけだ
武田 | じゅんぞう
純三 | 独立行政法人国立病院機構東京医療センター
名誉院長 |
| つじ
辻 | てつお
哲夫 | 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 |
| ながた
永田 | たいぞう
泰造 | 公益社団法人日本薬剤師会常務理事 |
| はとり
羽鳥 | ゆたか
裕 | 公益社団法人日本医師会常任理事 |
| はんだ
半田 | かずと
一登 | チーム医療推進協議会代表
公益社団法人日本理学療法士協会会長 |
| やまぐち
山口 | いくこ
育子 | 認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML
理事長 |

計10名（○:委員長）
五十音順(敬称略)

課題解決型高度医療人材養成プログラム ペーパーレフェリー名簿

あらい 荒井	こう 耕	一橋大学大学院商学研究科教授
いで 井出	ひろお 博生	千葉大学医学部附属病院地域医療連携部准教授
こうやま 神山	じゅん 潤	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ浦安市川医療センター管理者
さかまき 酒巻	てつお 哲夫	高崎市医師会看護専門学校副校長
しばた 柴田	みゆき みゆき	大谷大学文学部人文情報学科教授
そえじま 副島	ひでひさ 秀久	社会福祉法人済生会支部熊本県済生会支部長
ほしなが 星長	きよたか 清隆	藤田保健衛生大学学長

計7名
五十音順(敬称略)

課題解決型高度医療人材養成プログラム

平成29年度予算額:8億円(平成28年度予算額:9億円)

概要

高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医療人材の養成を推進する。

背景 課題

◇健康長寿社会を実現するための疾患克服が課題 ◇人口減少・少子化の進行

医師・歯科医師

看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ

高度医療専門人材の不足

・病院基盤部門を担う医療安全・感染制御領域等の専門人材養成と体制充実

チーム医療の推進

・チーム医療推進のための専門性の強化と役割の拡大に応えるため、学生・医療人の実践能力の強化等

社会から求められる多様な医療ニーズの増加

・難治性疾患領域や高難度手術(移植医療等)領域等を担う専門人材養成

我が国が抱える
医療現場の諸課題

教育と臨床の連携強化

・学生・医療人の実践能力を強化するため、教育と臨床が連携し、卒前・卒後の学生・医療人の教育指導体制の構築等

高齢化に伴う歯科医療ニーズの変化

・口腔疾患と全身疾患の関わりに関する領域を担う高度な歯科医師の養成

地域医療連携の推進

・地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・医療者に地域医療連携の視点や実践を教育できる教育指導者の養成等

取組

【取組1】医師・歯科医師を対象とした教育プログラム

横断的な診療力とマネジメント力の
両方を兼ね備えた医師養成

特に高度な知識・技能が必要と
される分野の医師養成

健康長寿社会の実現に貢献する
歯科医療人養成



【取組2】看護師・薬剤師等を対象とした教育プログラム

対象職種：看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科衛生士、歯科技工士



卒前・卒後の継続的な教育プログラム
開発と教育指導体制の構築

臨床での教育指導者養成と大学
教員・教育指導者の人材交流

地域医療にも貢献できるメディカル
スタッフの養成

成果

高度医療専門人材の輩出、我が国が抱える医療課題の解決、健康立国・健康長寿社会の実現

課題解決型高度医療人材養成プログラム(病院経営支援)

平成29年度予算額:1億円(課題解決型高度医療人材養成プログラム平成29年度予算額:8億円の内数)

概要

健全な病院運営実現のための教育プログラムの開発及び教育体制を構築し、地域の実情に応じた経営戦略の企画・立案能力を兼ね備えた医療人材を養成する。

背景・課題

- 社会・経済情勢の変化に伴い、国民の生命・健康を預かる大学病院の運営に大きく影響を及ぼしており、中長期的視点に立った安定した病院運営の構築が喫緊の課題であり、大学病院からの要望の声が高い。
- 大学病院は教育研究の場であると同時に、質の高い医療を提供している中で、高度な医療や不採算な医療を責務として実施。
- 大学病院機能の維持及び病院運営を確立するため、経営戦略の企画・立案等の能力を有した医療人の養成が重要。



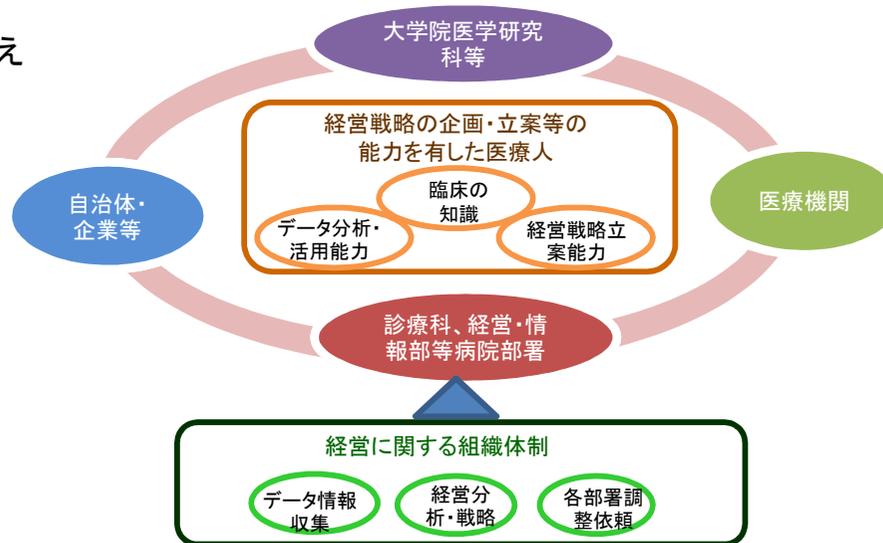
取組

【目的】 地域の実情に応じた経営戦略の企画・立案等の能力を兼ね備えた医療人材を養成

【内容】

- ◇ 大学及び大学病院において、大学病院の経営戦略の企画・立案等に関する教育プログラムの開発及び現場での実践的な人材を養成
- ◇ 附属病院内に経営に関する組織・体制を整備した上で、病院経営戦略を実践
- ◇ 院内の診療科や関係部署、学内の関係講座、他大学病院、自治体や医療機関等との連携

【対象】 医師、看護師、医療従事者、大学院生等



期待される効果

- 大学病院における効率的な運営の実施
- 地域の実情に応じた質の高い医療体制の確保

■ 大学病院における経営の改善

